

概要 市民ひとりひとりの心身の健康づくりへの意識を高めるとともに、各世代に応じた健康教育や保健サービスなど、保健所を中心とした健康づくりを進める。

総合評価

B

客観指標評価は主指標である脳血管疾患による死亡率が増加しているものの、がん及び心疾患による死亡率は下がっており、やや良い傾向にある。また市民の生活実感は大変良い状況である。客観指標については、b評価ではあるが今回の評価だけでは取組の効果によるものか判断が難しく、さらに中長期的な推移を踏まえる必要がある。これらのことを考慮しながら両評価を総合的に勘案し、施策の目的はかなり達成されていると評価する。

この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: b

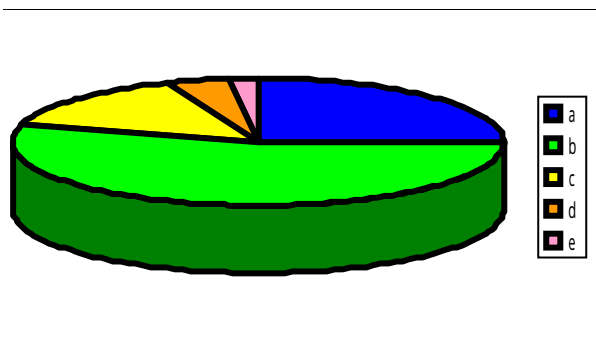
指標名とその前年値、現在値、目標値、達成度

評価

| | | | | |
|----------------------------|-------|-------|--|---|
| 生活習慣病による死亡率(がん)(人口10万対) | 248.2 | 243.5 | | a |
| 生活習慣病による死亡率(心疾患)(人口10万対) | 120.2 | 115.3 | | a |
| 生活習慣病による死亡率(脳血管疾患)(人口10万対) | 90.3 | 91.6 | | e |
| (準)基本健康診査の受診率(%) | 34.1 | 34.8 | | c |

この施策に関する市民生活実感評価

健康づくりに取り組む人が増えている。



| | | |
|------------------------|-----|-------|
| 答a: そう思う | 96 | 25.1% |
| 答b: どちらかというと思う | 207 | 54.0% |
| 答c: どちらとも言えない | 57 | 14.9% |
| 答d: どちらかというと思う 思わない | 16 | 4.2% |
| 答e: そう思わない | 7 | 1.8% |
| 有効回答数 | 383 | |
| 市民生活実感評価 | | a |

<参考>この施策実現のための主な事業

事業名

- 京都市体育館
- 西京極総合運動公園 野球場
- 西京極総合運動公園 陸上競技場兼球技場(補助競技場を含む)
- 西京極総合運動公園 プール施設(京都アクアリーナ)
- 武道センター
- 横大路運動公園 体育館
- 宝が池公園運動施設
- 有料運動公園
- 地域体育館
- 市民スポーツ会館
- 「学びとふれあい」のための事業
- 鍼灸マッサージ関係団体事業補助
- 京都市健康増進センター(ヘルスピア21)

健康づくり研究等助成(健康づくり基金充当事業)

衛生教育

栄養改善事業

健康づくりゼミナール

健康運動指導者養成事業

女性健康診査

骨粗しょう症予防健康診査

いきいき健康サポート事業

健康手帳の交付

集団健康教育

個別健康教育

健康相談

基本健康診査

がん検診

受診率向上対策

がん管理評価事業補助金

各種事業補助金

京都市ラクト健康・文化館

園芸振興

医師等確保対策事業

小児慢性特定疾患治療研究事業

桃陽病院 運営